

平成 20 年度（第 27 期）通常総会資料

平成 19 年度（第 26 期）

事業報告書
貸借対照表
正味財産増減計算書
財産目録
収支計算書
証明書(会計監査)

平成 20 年度（第 27 期）

事業計画書
収支予算書

理事及び監事候補
(平成 20, 21 年度)

評議員候補
(平成 20, 21 年度)

平成 20 年 5 月 30 日

社団法人 日本フルードパワーシステム学会

〒 105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-22
機械振興会館 別館 102

電話 03-3433-8441
FAX 03-3433-8442
E-mail info@jfps.jp

第1号議案 平成19年度（自平成19年4月1日～至平成20年3月31日）
事業報告書、収支計算書承認の件

平成19年度事業報告書

自 平成19年 4月 1日
至 平成20年 3月31日

1. 事業
(1) 集会事業

事業名	行事名	期日	場所
集会	第26期通常総会	H19. 5. 25	東京 (機械振興会館)
講演会	平成19年春季フルードパワーシステム講演会 参加者 144名	H19. 5. 24・25	東京 (機械振興会館)
	平成19年秋季フルードパワーシステム講演会 参加者 122名	H19. 11. 15・16	鹿児島 (霧島市役所)
講習会	総会併設春季セミナー “フルードパワーを支える要素技術” 参加者 32名	H19. 5. 23	東京 (機械振興会館)
	オータムセミナー “鉄道におけるフルードパワー技術” 参加者 33名	H19. 10. 19	立川 (立川グランドホテル)
	ウインターセミナー “フルードパワー～空と宇宙～〈航空機と ロケットへの応用〉” 参加者 22名	H20. 2. 22	東京 (電気通信大学)
	入門者向き実習講座「油空圧技術」 参加者 16名	H19. 6. 6～8	大阪 (ホリテセンター関西)
	フルードパワーシステム特別研修会 参加者 12名	計4回	東京
	若手育成フルードパワー道場 参加者 15名	計4回	東京 (機械振興会館・他)
教育講座	特別教育講座 「徹底！ 実用油圧システム－油圧の基礎から コンピュータ・シミュレーションまで－」 参加者 25名	H19. 8. 28～30	東京 (東京電機大学)
	体験講座「亀型ロボットを作ろう！」 参加者 40名	H19. 10. 7	千葉 (東京電機大学)

- (2) 研究委員会（企画委員会・産学共同研究委員会）
1. OHC-Sim特別研究委員会
（委員長 中田 毅，期間延長 平成19年6月～平成20年5月）
 2. 制御理論・制御手法を活用したフルードパワーの新展開に関する研究委員会
（委員長 眞田 一志，期間 平成18年4月～平成20年3月）
 3. 機能性流体を活用した次世代型フルードパワーシステムに関する研究委員会
（委員長 中野 政身，期間 平成18年4月～平成20年3月）
 4. 水圧駆動システムの新しい応用に関する研究委員会
（委員長 北川 能，期間 平成18年4月～平成20年3月）
 5. 未来環境に適応する次世代空気圧システムに関する研究委員会
（委員長 藤田 壽憲，期間延長 平成19年4月～平成20年3月）
 6. フルードパワーのトライボロジー研究委員会（Ⅱ）
（委員長 小曾戸 博，期間 平成19年4月～平成21年3月）
 7. 空気圧システム基礎特性研究委員会（流量特性に着目した省エネ化及び信頼性研究）
（委員長 香川 利春，期間 平成19年4月～平成21年3月）
 8. FLUCOME研究委員会（流体計測制御と可視化に関する研究）
（委員長 香川 利春，期間 平成19年4月～平成21年3月）

(3) 会誌（編集委員会）

	Vol.	No.	適 要
会誌「フルードパワーシステム」	38	3	H 19. 5. 15
	38	4	7. 15
	38	E1	8. 15（電子出版）
	38	5	9. 15
	38	6	11. 15
会誌「フルードパワーシステム」	39	1	H 20. 1. 15
	39	2	3. 15
			電子出版を含め、7回発行毎号1,850部

(4) 研究論文（論文集委員会）（平成 18.4.1～20.3.31）

	投稿論文受付件数	論文集掲載済	掲載待ち	校閲中	返却
H18年度	18	14	0	0	4
H19年度	19	7	5	6	1

(5) 表彰（表彰委員会）

① 平成18年度（社）日本フルードパワーシステム学会賞授賞

学術論文賞：

「準等温化圧力容器を用いた空気圧機器の流量特性計測に関する研究（熱伝達を考慮した等温化放出法の温度補償の提案）」

正会員 王 涛殿、蔡 茂林殿、川嶋 健嗣殿、香川 利春殿（東京工業大学）

技術開発賞：

「超低トルク円すいころ軸受（LFT-Ⅲ）の開発」

正会員 松山 博樹殿、戸田 一寿殿、荻野 清殿、川口 敏弘殿、
上村 篤司殿（㈱ジェイテクト）

「ガス遮断器用油圧操作器の開発」

正会員 瀬戸 信治殿（㈱日立製作所）、河本 英雄殿
海老澤 大輔殿（㈱日本AEパワーシステムズ）

技術功労賞：

正 会 員 宮川 新平殿 (KYB株)、小根山 尚武殿 (SMC株)

最優秀講演賞：

・平成 18 年秋季講演会講演

「自動車 AT/CVT 用小型比例電磁弁の開発」

油圧・他／社会人部門 鈴木 信殿 (日本電産トーソク株)

「油圧シリンダ内流れ場が一次元熱解析の温度予測精度に与える影響」

油圧・他／学生部門 城田 勇介殿 (九州工業大学)

「空気圧サーボ弁の動特性を考慮した空気圧サーボテーブルの精密位置決め」

空気圧／学生部門 小木曾 太郎殿 (東京工業大学)

・平成 19 年春季講演会講演

「振動抑制効果を向上した改良型パッシブ式 MR ダンパの数値解析による特性評価」

油圧・他／社会人部門 村上 貴裕殿 ((財)電力中央研究所)

「MR 流体コンポジットのレオロジー特性と解析モデルによる評価」

油圧・他／学生部門 今井 政志殿 (山形大学)

「モデル適合制御を用いた鉄道車両の速度サーボブレーキ」

空気圧／社会人部門 山崎 大生殿 ((財)鉄道総合技術研究所)

「繰り出し方式の方向操舵可能なレスキュー探査ホース」

空気圧／学生部門 吉柳 一郎殿 (東京工業大学)

② 平成 18 年度 SMC 賞： 正 会 員 船木 達也殿 ((独)産業技術総合研究所)

③ 平成 18 年度多額の寄付に対する感謝状： SMC株殿

④ 平成 18 年度油空圧機器技術振興財団顕彰：

「位置・力複合制御機能を内蔵した油圧シリンダに関する研究 (第 3 報 DiThCo シリンダのコンプライアンス制御機能とその応用)」

正 会 員 呉 春男殿、北川 能殿 (東京工業大学)

2. 会 議

第26期通常総会	1 回	H19.5.25 開催
理 事 会	6 回	
評議員会	1 回	H20.3.31 開催
各委員会		
委員長会議	6 回	
庶務委員会		書面審議
表彰委員会		書面審議
編集委員会	6 回	
情報システム委員会	4 回	
論文集委員会		書面審議
企画委員会	6 回	
出版委員会		書面審議
基盤強化委員会	4 回	
会計委員会		書面審議
第7回JFPSフルードパワー国際シンポジウム実行委員会	3 回	
産学共同研究委員会	1 回	

3. 理事会 各担当理事からの提案の審議、各委員会活動計画・報告の審議、予算執行に関する審議、委員長会議 理事会の前月に開催、各委員会活動の調整及び理事会議題に関する準備。

4. 委員会活動報告

- 庶務委員会 規程の改訂検討、学会財務関連など庶務全般の検討
 表彰委員会 各賞の選考委員長選任、授賞候補者の理事会への推薦。
 編集委員会 学会誌の特集企画と学会誌（電子出版を含めて年7号）の発行。
 情報システム委員会 クォーターリー発行企画、国内外定期刊行誌、国際会議論文集などの文献データベース、関連特許入力とホームページ掲載。
 論文集委員会 論文管理表による校閲・掲載状況の把握。論文投稿増強策の策定。J-STAGE 上での論文公開。英文論文も含めて論文集投稿規程、執筆要綱改定案の策定と実施
 企画委員会 企画事業（春・秋季講演会、セミナーなど）の審議と実施。研究委員会の新設、延長の審議
 出版委員会 将来の出版事業について検討
 基盤強化委員会 会員増強策の計画と実施。学会誌広告の増強策検討。基盤強化のための特別企画策定と実施。フルードパワー道場開催の審議と実施。
 会計委員会 平成19年度収支計算書作成。平成20年度収支予算案の検討、作成。学会財務改善策の検討。
 第7回JFPSフルードパワー国際シンポジウム実行委員会 第7回JFPSフルードパワー国際シンポジウムの計画策定。
 国際交流事業 アジア諸国を中心とした国際交流事業計画の策定。国際奨学生募集の計画と実施。

5. 寄付金

一般寄付金振込額 ¥5,000,000（SMC株式会社殿、平成20年3月30日）

6. 会員の移動状況

（平成 20.4.17現在）

会員の種別	平成19年度期初	平成20年度4.17現在	差引増減
名誉会員	14	14	0
正会員	943	929 (注)	▲14
学生会員	159	178	19
賛助会員	134社 (309口)	131社 (299口)	▲3 (▲10口)

（注）正会員のうち、若手会員230名、シニア会員15名

平成19年度入退会などの詳細

正会員：入会者82名、退会者96名

学生会員：入会者74名、退会者55名

賛助会員：入会3社（3口）、退会6社（13口）